

平成 30 年度 第 3 回 菩提寺まちづくり協議会合同役員会 議事録

日時:平成 30 年 6 月 13 日(水) 19:30~21:13

場所:菩提寺まちづくりセンター第 2 会議室

出席者

まち協 木ノ下 栗津 中村 川上 浅井長 田中秀 浅井基 東良 鶴飼 宮田 平地

区長 永田(イワタニ) 樋口(三上台) 廣嶋(菩提寺) 松本(近江台) 山口(サイド)

自治会 坂田(菩提寺代理区長) 田中雄(北山台自治会副会長) 久郷(三上台自治会長)

上原(みどりの村自治会長) 田中論(イワタニ自治会長) 溝口(サイドタウン自治会長)

欠席者 松山(近江台自治会長)

市民憲章唱和

会長報告

会長 木ノ下 良三

1. まちづくり協議会を対象に「法人化制度研修会」が 5 月 25 日(金)14:00~開催されました。前回の報告で開催日が 5/5 と報告しましたが間違っていました。NPO 法人の手続きやメリット等を県の担当者から説明がありました。慎重に検討していきます。
2. 湖南省地域活性化推進モデル事業交付金の交付申請を行いました。
①子育て事業(すくすく食堂)300,000 円 ②歴史文化保存事業(菩提寺の記録冊子作成)287,000 円 ③防災士の育成事業 100,920 円 合計 687,920 円です。
3. 社会福祉協議会の絆づくり交付金の申請を提出いたします。
締切は 5 末でしたが趣旨に沿った案がまとまらず、1 ヶ月の猶予を頂きました。
行政区自治会を超えて学区単位までの連携をできる地域づくりを検討する年度として申請をいたします。
4. 区自治会へのまち協分担金依頼を 6 月に実施させていただきます。
総会でも申し上げましたが菩提寺の歴史保存事業や土曜日事業等の子ども達に関する事業に地域の分担をお願いいたします。
5. 本年度の役員活動費で一部支給修正を行います。副委員長に活動費を支給しておりましたが、今年度は委員会活動費としてサポーターを含めた運営委員の方たちの打ち合わせや親睦の為の支給に変更します。ご理解をお願いします。

協議事項及び承認事項

福祉・安全委員会報告

浅井長委員長

開催日:2018.6.11(月) 19:30~20:30 (菩提寺まちづくりセンター 第 1 会議室)

出席者:委員会メンバー⇒川上、竹内、立石、井上、浅井(長)

食堂スタッフ ⇒中野、高家、阪本、湯室、山川、藤野、菊地、浅井(春)、今泉、塚本、
平野、高崎、重松

*今回は、「すくすく食堂」スタッフ会議と兼ねて委員会を開催

議 題

1. 第9回「すくすく食堂」(6月16日開催)について

①参加申込み（6月13日締切り）

- ・大人10名 子ども21名 の合計31名（6月11日現在）
⇒6月12日現在 大人10名 子ども34名
- *出前マジックスタッフ3名（別室で早めに）
- *食堂スタッフ18名
- *60食を想定して準備する。

②食事内容

- ・ドライカレー⇒食材の分量を再検討（挽肉：50g/人で準備）
- ・サラダ⇒食中毒対策を考慮して食材を変更する。

③食中毒対策

- ・調理分担を決める。（サラダとドライカレーの2区分）
- ・マスクと手袋の着用徹底
- ・加熱調理とサラダの食材も湯をとおす。
- ・包丁の専用化

④今回から学習の場所と時間を設定

- ・湖南省地域活性化推進モデル事業交付金をいただくための要件として30分程度の学習時間を入れることを求められた。⇒11時～多目的活動室で宿題等を持ち寄り自主学習

2. 「すくすく食堂」の財源確保(年間44万円の予算で事業遂行)

- ・滋賀の縁創造実践センター助成金 10万円（H30年度が最終年度）
- ・湖南省地域活性化推進モデル事業交付金 30万円（申請中）
- ・菩提寺まち協から残りを支出
- ・参加費（現在、子ども100円、大人300円）

3. 「すくすく食堂」への物の提供

- ・滋賀県の災害時用備蓄品からビスケット8箱（480食分）を提供いただいた。
（賞味期限が平成30年10月）
⇒スタッフに配布して、手を加えての活用方法を考えていただく。

4. 第10回「すくすく食堂」について

- ①日程変更 7月14日（21日は教育委員会がホール使用）
*事前のスタッフ会議7月9日（火）
- ②食事の内容
・ロコモコ井で決定（そうめん流しの提案もあったが、多人数では準備が難しいため断念）
- ③“遊びと学ぶ”はスライムで遊ぶ⇒菊池さんに指導をいただく。

5. 今後の「すくすく食堂」開催日程

- ・第11回 9月15日（土）⇒湖南省生涯学習課とコラボ
食事を12時45分に終えて模様替え
13時30分から「父親支援事業（ファザーリング）」
「すくすく食堂」参加者も参加いただくように誘導

- ・第12回 10月20日(土) ⇒部屋の仮予約済み(ホール、調理室、子どもの部屋、多目的活動室)
- ・第13回 11月17日(土) ⇒部屋の仮予約済み
- ・第14回 12月22日(土)

※ 補助金執行に関わり学習時間を設ける必要性 →30分程度の宿題を主とした取り組みを進めていく。

<以下は、菩提寺まちづくり協議会福祉・安全委員会の内容>

6. 菩提寺まちづくり協議会の四役体制について(5月度合同役員会の決定内容報告)

- ・5月の合同役員会にて副会長に「栗津寛三」氏の就任を承認(近江台区、まち協の初代事務局長)

7. 防災士の育成事業

- ・昨年に引き続き、湖南省地域活性化モデル事業交付金を得て、防災士を育成する。
(昨年度、みどりの村区から2名が資格取得)
- ・今年のみどりの村区を除く6区から各1名の防災士を育成したい。⇒6月度の合同役員会で依頼
(受講料、大津での交通費補助)
- ・申込み締切り⇒7月の合同役員会にて報告いただく。
辞退があった区の枠はみどりの村区に振り当てる。
- ・受講日程 ⇒消防署等の普通救急救命講習を各自受講
*別途、普通救急救命講習の開催を検討する。(参加者10名以上が開催条件)
事前学習あり(レポート提出)
11月～12月 大津にて座学2日(試験含む)

8. 認知症高齢者発見・保護訓練の実施

①勉強会(兼人権まちづくり懇談会)	平成30年9月9日(日) 案内チラシは8月初旬に発行 依頼内容は7月の合同役員会にて説明
②発見・保護訓練事前勉強会	平成30年10月14日(日)
③発見・保護訓練実施	平成30年11月25日(日)
④反省会・講演会(兼人権まちづくり懇談会)	平成31年2月3日(日)

9. 次回委員会開催予定

- ・7月3日(水) 19:30～

質疑

Q) ① 当初予算52万円の確認

- ② 防災士 →各地区1名の依頼について
 - ・防災士は、各区の防災士と考える。
 - ・菩提寺区は、既に定数が在る。

A) 区への補助が無くなったため、まち協の事業として取り組むことにより菩提寺学区の防災力を高めていきたい。来年以降も地域活性化推進モデル事業の継続があれば取り組みたい。

- Q) 防災士の資格を取得した人に対して
- ・その人、個人に義務は課せられない。
 - ・市の補助で受講し資格をとっても市の行事に必ずしも参加しなくてよい。
- A) ・何かがあった時には、活動してほしい。
- 例えば、災害等もそうだが、防災訓練などには出てきてほしい。そのための防災士である。
- ・地域で役立っていただける人に依頼をしていただきたい。

文化芸術委員会報告

田中委員長

日時： 平成30年5月19日（土） 歴史の小径整備 9：00～10：30
文化芸術委員会 11：00～12：10

参加者 脇坂良弘 副島京子 田中秀明 宮田富也 栗津寛三

1. ◎整備作業

歴史の小径整備作業 9：00～10：30

ポイント2から古墳までの道の脇に木を並べて道を分かりやすくした。今回は半分のみ。

2. ◎定例会 11：00～12：10 まちづくりセンター事務室

1) 5月9日の合同役員会の報告

① 今年度、総会時に決まっていなかったまち協副会長に栗津寛三氏を推薦し、合同役員会で承認された。（今回、文化芸術委員会の定例会に参加された）

② 6月23日に第9回歴史講座を開講

歴史講座の案内チラシを各区で回覧してもらうように依頼した。

2). 歴史文化資料室関係

① 6月23日（土）に第9回歴史講座を開催する。

テーマ「菩提寺周辺の仏教文化」

講師 高梨 純次氏（公益財団法人秀明文化財団参事）

当日の会場設営等の協力をお願いします。

3) 新型交付金事業（湖南省地域活性化先進モデル事業交付金事業）

① 昨年度作成した「諸先輩に聞く、昭和前半の菩提寺」の続編を作成したい。

前回に聞きたい人を15人ぐらい人選したが、半分ぐらいの人しか聞く事が出来なかった。

前回聞けなかった人達に話を聞かせて頂き、続編を作成したい。

歴史文化保存事業（番号18）として、事前担当課の教育委員会、生涯学習課 氏丸氏と協議し了解をもらった。

4). 土曜日事業

① 文化芸術委員会としては、歴史ワークショップの2回目を行う。8月22日（水）の予定

② 夏休みの勉強会の日にかき氷を提供する。

8月1日（水）菩提寺北小学校 8月7日（火）菩提寺小学校 の予定。

③ これ以外の土曜日事業実施日に当日スタッフとして参加協力して欲しいとの学校側からの要望あり。

5). その他

① 今年度は霧降の瀧の整備を行わない。菩提寺山の散策路と歴史の小径を中心に整備作業を行う。霧降の瀧入口の駐車場を閉鎖している事と、瀧の上下に砂防ダムが出来て水量が

減ってしまいまち協として維持管理して行く事は当分はしない。

- ② 歴史の小径と菩提寺山の年間整備計画日程を作成し、合同役員会に提示して各区からの協力依頼をする。(別紙) 参加協力して頂いた方に、平和堂商品券をお渡ししたい。

歴史の小径 (500円) 菩提寺山 (1000円)



※もともと、まち協の「里山リニューアル事業」で、県の補助金活用で活動していた。その後もまた協が継続をしていくこととした。

そのことについて、現在、文化芸術委員会が窓口となっている。よって合同委員会において協力をお願いする現状である。各委員会から、各回に一人ずつでも出てきてほしい。

(7/11 までに出来る日を田中委員長まで連絡する。)

※ 菩提寺山整備作業予定の変更は、その時期や状況により変更なることもある。

6) 今後の予定

- ① 6月5日(火) 14:00～歴史文化資料室運営協議会
- ② 6月23日(土) 13:30～第9回歴史講座
- ③ 6月30日(土) 9:00～歴史の小径整備作業
- ④ 6月30日(土) 11:00～文化芸術委員会定例会

質疑(協議)

Q) 合同役員会の「組織」を考えることが必要ではないか。菩提寺山の整備作業の場合

- ・指揮は、委員会がとる。作業は、シルバー人材センターに委託する。
 - ・地域の役員は、多忙である。もともと、まち協の事業である。
 - ・維持管理は、そのやり方を考えないと 疲弊してしまう。やりたいと願う事業であれば、シルバーに委託して目的を達成するという方法もある。
 - ・年間一回くらいなら、参加してもよいのではないか。
 - ・しっかりやっていくには、やり方を考案すべき。
 - ・委員長の立場は理解できるが、各委員会等メンバーには既に多くの協力をいただく現状。他の力を借りてもよいのではないか。
 - ・できる仕事をつくっていくことが大事。
 - ・当初予算で組むなどの必要性も出てくる。
 - ・菩提寺山の管理責任者の所在はどこか。→市であれば 委託料をもらう必要がある。
 - ・とりあえず、6/30は、出られる者でサポートをする。その上で、本来どうすれば負担少なくできるか委員会で話し合ってもらいたい。
- 計画はできるが、管理場所はどこか。(森林組合・南桜・・・) 数人ではできない。
- ・作業内容の明確化 →時間内でできる計画の具体化提示を。



今年は、現状に協力する。

今後、どうするかを検討する。

一度やってみて、様子を知ること大事である。

場 所：菩提寺まちづくりセンター事務室

出席者：浅井基義、井上光生、中林政綱、青山憲一、保田芳利

1) 土曜日事業について

6月9日(土) 9:00~11:00 で水鉄砲を作成。

参加者は生徒68名、スタッフ15名、父兄20名の合計103名。

竹の芯に布を巻き、タコ紐で止める作業を楽しく行った。

屋外で試射したが、うまく遠くに飛ぶ物や、水が身体の方に漏れて体が濡れる人もいた。

うまくいかなかった人は修正して完成した。

事前準備として5/26に竹取りを行った。

2) 今後の活動予定

・竹林整備と北山台側の草刈り

7月14日(土) 8時30分まちづくりセンター集合。

ボランティアの募集案内の回覧を回す。(ボランティアさんに500円の商品券)

なお、草刈機を持参していただいた方にはチップソー1枚を配布し、燃料も準備する。

お茶とやぶ蚊対策は各自で行う。

・カブト虫

個室への移し替えは青山さんが適宜行う。

センターでの販売は7月中旬以降を予定。

お金の管理は昼は料金箱を置き、夜はセンターにお願いする。

各区・自治会の夏祭りで販売希望があれば出店する。

出店希望区 北山台・菩提寺・岩谷・サイドタウン

湖南省の夏祭りには、出店したいので商工会にお願いする。

・ヒラタケ

9月17日(月・祭日)に竹林からセンターに移動して、9月21日から23日にセンター屋外で販売する。

8月の合同役員会で案内して先着順に販売する。

・竹の粉碎機の購入検討

7月14日(土) 午後に竜王町に視察とテストに行く。

保管場所、メンテナンス、移動方法に課題があり、実テストを行い検討する。

予算が100万円なので付属の防音シートの購入を優先して、どの程度のものが購入できるのか調査する。

・滋賀県立大学関係

平成30年度の近江楽座に申請して、認可され37万円の補助金をいただくことになったとの報告を受けた。今後どのような活動をするのか大学と協議することを検討する。

意見) 粉碎機の購入はレンタルとも比較してください。置き場所のこともある。

次回日程：平成30年7月18日(水) 19時30分から 菩提寺まちづくりセンターまち協事務室

子ども育成委員会報告

東良委員長

日時：平成30年6月4日(月) 20:00~22:00

場所：まちセン会議室

出席者： 東良喜代一、鵜飼八千子、平塚和行、大黒直子、栗津副会長

1、6月18日（月）サポーター会議について。

（6/4日現在、案内38名中、出席18名、欠席11名）委員5名を除く。

1) 資料の確認

- ① サポーター名簿（外部秘）
- ② 夏休み夜間巡回
- ③ 愛のひと声あいさつ運動
- ④ ペットボトルロケット大会

2) 役割分担。

受付・ 正岡、寺本

司会・ 鵜飼

開会挨拶・ 木ノ下会長

説明者・ 東良、平塚

閉会挨拶・ 栗津副会長

3) 内容、各事業について

①安全安心できるまちづくりの推進。（予算5万円）

・夏休み夜間巡回、7/21（土）～8/25（土）計9回、延べ42名動員。

・愛のひと声あいさつ運動、9/3（月）～12/17（月）計9回、延べ41名動員。

②子どもたちと地域の大人との親睦を図る。（予算36万円）

・土曜日事業の一環としてペットボトルロケット大会。

8/25（土）9:00 受付 9:30～13:00 菩提寺小学校にて

参加費 無料

・ハリキリンピック。

10/28（日）菩提寺まちづくりフェスタ内において（詳細未定）

・すくすく広場。

H31 1/27（日）菩提寺まちづくりセンターにおいて（詳細未定）

2、湖南省青少年育成市民会議協働事業

7/3（火）社会を明るくする推進運動大会（東良、鵜飼、平塚）

○土曜日事業支援プロジェクト報告 永田リーダー

土曜日事業（6月）活動報告

◎6月9日（土）の水鉄砲づくり 菩提寺まちづくりセンター（多目的ホール）

菩提寺小学校：	参加 児童	31名
	未就学児	3名
	校長、貝沼コーディネーター	2名
	保護者	10名
菩提寺北小学校	参加 児童	35名
	未就学児	4名
	校長、教頭、牧内コーディネーター他	2名
	保護者	15名

まちづくり協議会スタッフ

8名

合計 113名

・制作説明： 作業手順の説明 まち協（浅井基義委員長）

当初 40 名ほどの参加者かとの予測を大幅に上回る 66 名の児童参加者及び未就学児 7 名、両校のスタッフ 7 名、まち協スタッフ 8 名、と大勢の人が水鉄砲を作り楽しく試射会を開き各自持ち帰っていただきました。

・スタッフの皆様子どもたちのお手伝いありがとうございました、怪我もなく子どもたちの笑顔に包まれて無事終了出来て良かったです。

・北中生徒ボランティアは学校事業の都合上不参加となりました。

・反省すべき点：未就学児及び保護者の名簿作成が出来なくてボランティア保険の対象外となりました（次回には改善が必要）

〈第一回水鉄砲会計収支報告〉

支出			
月日	項目	金額	備考
6月7日	ボランティア保険	2,380	6.7 精算
6月8日	タコ糸	324	6.8 精算
6月8日	布地	996	6.8 精算
6月9日	タコ糸 追加	548	6.9 精算
合計		4,248	

○会計

地域活性化推進モデル事業交付金 2 月末までで完了すること。

○事務局

・各委員会・プロジェクトの年間スケジュールの確定をお願いします。

（各イベント日程の届けを事務局長へ）

○その他

・東良委員長から→学童保育所運営協議会副理事長の立場から

菩提寺学童保育所から施設（教室空調工事）工事に伴うコミュニティセンター貸館依頼について

時期 8 月一か月間（盆時期は除く）7:30~20:00

場所 菩提寺コミュニティセンター大集会室・調理室

※ 協議会として受け皿となるよう前向きに考えてほしい。

↓ このことに対して、

センターから 現在登録のサークルさんや一般の方、中央まちづくりセンター閉館に伴うサークルの増加等への対応を十分に検討し対応をお願いしたい。

説明等必要時は、指定管理事業主（会長）、また学童担当課（こども政策課）から

※ 地域創生推進課 及び 子ども政策課 等、正式に依頼が来たときは会長一任とする。

以上

次回合同役員会 平成 30 年 7 月 11 日(水) 19:30~

承認署名 木下良三